

ニュースクリップ
News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

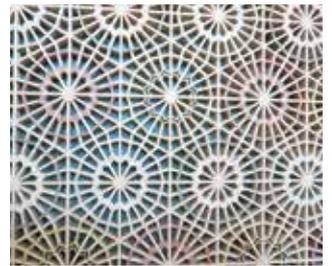
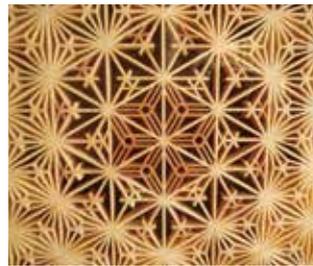
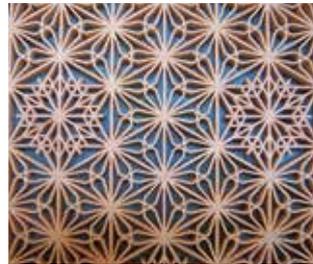
- P2 ヒストリーインタビュー
- P3 年頭あいさつ
- P4 青年部・女性部だより
- P6 「福島の美味しいもの
食のフェア」報告
- P8 元気印!!ズームアップ
- P10 Information 商工会だより
- P12 掲示板

当社のモットー「仕事は仕事で取る」を念頭に、確実・迅速・丁寧 に カナザワ建具店 代表 金澤良吉さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

新たなものづくり産業による地域貢献と活性化をめざして

2016.1.1
Vol.371



新たなものづくり産業による地域貢献と活性化をめざして

沿革

昭和五十四年七月、個人事業者として創業。木製建具工事やオーダー和洋造作家具、樺などの堅木指物、伝統組子工芸品の製造販売を行っております。平成十年に長男が修行から帰郷し、親子二代で営業しています。

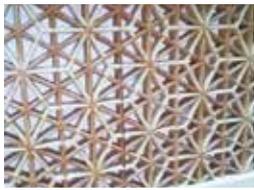
建具と組子について

〈建具(たてぐし)とは〉



障子戸・格子戸・襖・方ラス戸・アルミサッシ・スチールドアなど住宅の開口部など仕切りに取付けられ空間を仕切るもののことを総称して言います。

〈組子(くみこ)とは〉



分かり易いものとして障子戸の格子部分ですが、釘などを使わずに木と木を組み合わせて造る技術のこと及び部材のことを言います。

「建具」は、建物に欠かせない要素であるため住宅需要に比例し注文を受けませんが、現代の一般新築住宅は和室が減少し、洋風文化住宅を新築する施主が増えました。それとともに「組子」技術を施した製品の需要が減少傾向にあるのが業

界の現状です。

商工会との関係は

矢祭町商工会様には倉庫増設や設備投資など、三十年来のご指導とサポートを頂いております。また、理事役員も仰せつかり日頃より大変お世話になっているところです。この度、組子事業の設備投資を行うにあたり商工会連合会様へ相談したところ「ものづくり・商業サービス革新補助金」申請の提案を受け、併せて福島県知事による「経営革新計画」の承認を目指すこととなりました。お陰様をもちまして、双方採択承認されました。申請書の作成は正直容易なものではありませんでしたが、採択に向け取り組むことで当社が現在置かれている現状や課題の再認識、今後の目標が明確になりました。

職人としての誇り

我々建具業界には、全国建具組合連合会という組織があります。加入している都道府県組合の持ち回りで毎年開催されている全国建具展不念会全国の建具職人が持っている最高技術を発表する検舞台があり、当社は組子建具などの受注がある場合出品しており、幾多の出品をし、受賞をいたしました。中でも平成二十二年第四十二回全国建具展不念会で頂いた内閣総理大臣賞受賞は当社にとって身に余る栄誉です。お客様は大変喜ばれ、ともに喜びを分かち合えたことが幸せでした。

「カナザワ建具店の最高技術を駆使した組子建具製品」



第43回全国建具展示会 内閣総理大臣賞作品
組子入間仕切戸 ～春夏秋冬～

伝統組子の模様を襖の柄としてデザイン。春の桜と桔梗、夏の花火と紫陽花、秋のコスモス、雪の結晶それぞれを葉の形と木材天然色の色分け、組分けにて表現しました。1.2mmの材料を曲げ木と工夫で表している柄は、とても高度な技術なので、かなりの手間がかかりました。腰部分の花形模様、八重麻の葉という模様にある空色の自然色は近くで見ると真珠のような輝きを醸し出しています。天然木材で「青」という色を出すのはとても難しいものであり、今までにない発見でした。これらを含め、同業者はもろろん一般の方に作品の詳細をわかりやすく伝えることで最も優れた作品として評価されました。当社の製作技術で一番の強みは組子です。これまで親子二代に渡りに培った「技」と、職人としての「勘」を活かし、オリジナル製品の生産拡充を図りたいと考えています。

一概に「組子」工芸品は職人の中で

は携われるまで十年、さらに販売できる施工術を身に付けるまで十年かかると言われていました。技を盗み出来たからといって商品にしたものに、師匠から受け継いだ基本がないのは、目瞭然であり、この誰が作ったか見ればわかるまでには、相当の施工実績と美的感覚が必要とされます。当社の新しい組子商品は、それを誇りとして「販売しやすい製作時間とユーザーが納得しお求め安い価格」を念頭に最高難度技術を駆使した新しい組子商品を福島県の工芸ブランド品として確立を目指し、故郷とともにPRすることで広域にわたり活気を伝え、地域活性化の一助になることが今後の目標です。伝統工芸技術とものづくり商品が衰退傾向にある中、次世代への技術継承が求められるなど、様々な課題が山積しているのも事実です。当社の motto「仕事は仕事で取る」を念頭に、確実・迅速・丁寧を心がけ、ならびに若手育成にも尽力し、一番大切な事としてお客様により満足していただける商品を提供できる職人であるために、日々研鑽して参ります。



企業概要

企業名 カナザワ建具店
代表者名 金澤 良吉
組子事業担当 金澤 良一
住所 〒963-5201
福島県東白川郡矢祭町中石井字館谷26番地1
TEL 0247-46-3681
FAX 0247-46-3701
URL http://www9.plala.or.jp/doorshop/
MAIL kanazawatategu@yellow.plala.or.jp

「ふくしまの商工業の再生を目指して」

福島県商工会連合会 会長 轡田 倉治



平成二十八年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年来、我が国経済

は、アベノミクス効果による回復基調により明るい兆しが見えてきたものの、地方の中小企業・小規模事業者にとっては、景気回復の実感を得ていないとはいえない厳しい状況が続いております。本県においては、今なお、生活・生産活動が制約され、依然として多くの事業者が地元で事業再開できるのか、新たな地で再開せざるを得ないのか、転業せざるを得ないのか、見通しが全く立たない状況が続いております。

また、県内全域にわたる風評被害も根強く、原発の汚染水漏れなどの問題が日々報道されており、風評被害に拍車をかけている状況にあり、多くの業種の中小企業・小規模事業者の経営に多大な影響を与え続け、極めて厳しい状況が続いております。

こうした中、昨年は、被災事業者の事業再生・再建や原子力損害賠償に関わる支援を図るため、会員事業者が抱えている課題を再認識し、真に頼りになる商工会として「ふくしまの商工業の再生を目指して」をスローガンに掲げ、「商工会復興ビジョン基本理念」のもと、地域商工業の復興と地域コミュニティの再生に取り組んでまいりました。特に風評被害払拭のための事業として、「食のフェア」を開催すると

ともに、主要都市の住宅地において、県産品の展示販売を実施するなど、安全・安心の情報発信を強化してまいりました。また、県と共同で東京日本橋にオープンさせたアンテナショップ「ミデッテ」は、売上・来場者数ともに目標を達成し好調に運営を継続しております。

新しい年は、引き続き震災復興や風評被害払拭に取り組むとともに、これまで以上に、中小企業・小規模事業者に寄り添った伴走型支援機関としてより一層きめ細かな経営支援を実践していかなければならないと考えております。このため、中小企業・小規模事業者が有する技術や技能を掘り起こすための徹底した巡回訪問はもとより、会員の皆様のニーズに応えるため、職員一人ひとりが支援能力の向上に努め、地域の支援機関の中核として、中小企業・小規模事業者への支援を強化してまいります。また、広域連携体制の更なる強化による、効果的な企業支援に努め、県内産業に活力を取り戻すことができるよう、各般の事業を展開してまいります。

八十九商工会と県連が一丸となって、地域の振興・創生の中心的役割を担うことで「信頼される商工会」頼りになる商工会となるよう目指してまいりますので、引き続き、会員皆様方の「一層のご協力」と「支援をお願い申し上げます」結びに、商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

「復興の新たなステージへ」

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

震災から間もな

く五年を迎えようとしております。今もなお十万人もの県民の皆さんが避難生活を続け、廃炉・汚染水対策や被災者の生活再建など課題が山積しており、復興はいまだ途上であります。

その一方で、昨年はふたば未来学園高等学校の開校を始め、環境創造センターなどの復興を支える拠点施設の整備進展や文化・スポーツでの若者の活躍など、明るい光が着実に広がりをを見せております。

県民の皆さんがより一層復興を実感できるよう、昨年末に改訂した復興計画に基づき重点プロジェクトを確実に実行に移し、スピード感を持って取り組んでまいります。

中でも、避難地域の復興再生は最優先課題であります。環境回復や生活再建はもちろんです、医療や公共交通などの広域的な課題への対応やイノベーションコースト構想の具体化など、一日も早い避難地域の復興再生に向け、県民の皆さんが安全に安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。

また、経済や産業に活気がなければ福島復興は成り立ちません。農林水産業、商工業、観光業などの既存産業の再生はもとより、再生可能エネルギーや医療関連産業を始め、ロボット関連産業、航空宇宙関連産業など、新たな産業が福島の地で生まれ、育つていくよう取り組みを進めてまいります。

さらに、復興と併せて取り組まなければならないのが地方創生であります。昨年末に策定した地方版総合戦略の各施策を重点的に推進し、人口減少の克服と地域の活性化をしっかりと図ってまいります。

このほかにも、風評・風化対策、避難者支援、強い農林水産業の再生、活力ある商工業づくり、社会生活基盤整備など、山積する課題の二つに全力で取り組んでまいりますと考えております。

震災・原子力災害からの復興と地方創生を二つの大きな柱として、直面する課題に果敢にチャレンジし、「生まれて良かった、住んで良かった、来て良かった」と思える福島県の実現を目指して、全力で県政を運営してまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

第17回商工会青年部全国大会(兵庫大会)の開催

商工会青年部全国大会が平成27年11月10日、兵庫県「神戸国際展示場」において、全国から3,000名を超える青年部員が参加し盛大に開催されました。

大会では、「まち(地域)づくり部門」東北・北海道ブロック代表として逢瀬町商工会青年部が表彰されました。また、青年部活動に対して大きく貢献していただいた川内村商工会青年部の箭内崇さんに感謝状が贈られました。

次回の全国大会は、商工会青年部女性部組織化50周年記念式典と合わせて、郡山市「ビッグパレットふくしま」で開催されます。河治徹県青連会長から全国の青年部員に向けて、「福島大会に参加していただき東日本大震災で頂いた支援に対して恩返しをさせていただきたい。東北・北海道ブロックが一丸となり、商工会にとって新たな歴史を刻むにふさわしい日となるよう全力で取り組んでいきたい」と次回開催県としてPRしました。



大会旗引継



全国大会



青年部顕彰

商工会うまいもんNo.1決定戦の開催

福島県商工会青年部連合会主催による商工会うまいもんNo.1決定戦が10月31日(土)、11月1日(日)に小野町「小野運動公園」にて開催されました。県内各地の商工会が自信をもっておススメする「うまいもん」の中から、小野町商工会青年部の「おのまち小町アイスバーガー」が優勝を飾りました。



うまいもんNo.1出展者の皆さん

商工会うまいもんNo.1決定戦結果

- 優勝** 小野町商工会青年部
「おのまち小町アイスバーガー」
- 準優勝** 滝根町商工会女性部
「滝根カレーコロッケ きむコロ」
- 第3位** 四倉町商工会青年部
「秋刀魚の蒲焼重」



うまいもんNo.1表彰式

確かな真心、未来に続け、がんばる力!

～女性の輝きで街ににぎわいを～

第17回商工会女性部全国大会IN 東京

商工会女性部全国大会が、H27年10月7日～8日(水・木)に東京都渋谷区「NHKホール」において約3,000名が参加し盛大に開催されました。

福島県参加者は、平成28年度開催される商工会青年部女性部全国組織化50周年記念式典及び全国大会(以下 50周年式典等)が福島県で開催されることに伴い、開催県のおもてなし等の手法を研修するため、また次期開催県として意識を持っていただくためにも、今年は各部に対し2名の参加をお願いし132名の女性部員等が参加しました。

主張発表大会においては、テーマ「女性部活動に参加して」～部員増強の取り組み～と題して発表された香川県(中国・四国ブロック代表)の発表者(さぬき市商工会女性部 寒川 福見)が最優秀賞となりました。全国的に部員増強運動に苦慮しているなかで、「女性部員増強と幽霊部員の脱却」を目標に掲げ、女子力UP講座を定期的に企画し若い方から年配の方まで参加できるような内容に努め、更に女性部に加入するメリット等々を宣伝するなど、部員加入数が全国3位となった活動内容のお話でした。

また、基調講演では、銀座「クラブ稲葉」オーナーであり、株式会社白坂企画代表である白坂亜紀氏による「銀座のママに学ぶ 人間力!女子力!ビジネス力!」と題し講演が行われました。



全国大会:大会旗引き継ぎ様子



次期開催県PR:服部会長



交流会:京王プラザホテル



大会の最後には、次期開催県PRの時間が設けられました。

県女性連として、来年は全国各地から多くの方に福島に来ていただき県内各地の観光地等々へ是非足を運んで欲しいという願いもあり、作成した県内各地のPR映像を見ていただき、併せて福島県女性連服部淳子会長からもPRを含めた挨拶を行い最後は、福島県内の参加者全員が総立ちし会場の参加者にPRを行いました。

翌日は、平成28年50周年記念式典等でおもてなし等を行うためにも、東京都女連の企画したエクスカーション「都内洋館めぐりコース」に参加し「旧古川庭園」や「鳩山会館」を見学し、50周年記念式典等を意識した研修を実施して参りました。



エクスカーション左:鳩山会館 右:旧古川庭園

食のフェア」開催報告

害払拭対策として、本県産加工食品にかかる安心・安全の普及
 て福島美味しいもの食のフェアを開催いたしました。



オープニングセレモニー テープカット



“酒の肴にピッタリ”



商工会職員による伴走支援



“きつねうちとは・・・”



すべて御賞味くださ～い



販売ツール”のぼり旗”

商工会職員による伴走支援

平成27年9月20日(日)から21日(月)までの2日間、いわき市「小
 名浜美食ホテル 小名浜潮目交流館」において34事業所の出展に
 より開催し、シルバーウィーク5連休の観光地という環境にも恵ま
 れ、多くのお客様に福島県産の食材を使った加工食品“美味しいも
 の”の魅力を感じていただくことができました。



会場全景 多くのお客様で賑わっています



福島美味カフェ 商品開発支援
 “お味見いかがですか～”



福島美味カフェ 発酵食品代表する味噌

2015福島の美味しいもののフェアコンテスト

会場において、審査員の採点①伴走支援計画(支援計画と実行内容を確認)、②商品(素材、食味、名称、パッケージなど)、③売り場(売り場の飾付け、商品陳列、POPなど)、④広告宣伝(DM、チラシ、パンフレットなど)、⑤販売(接客、商品説明、試飲試食提供など)および来場者アンケートの結果から総合的に審査し表彰するコンテストを実施しました。上位の3店舗の取組内容は次のとおりです。

【最優秀賞 福美精肉店(埴町商工会)】

『店の主力商品である「豚のみそ漬」の販路拡大』を支援テーマとして、①お土産品として訴求効果の高い掛け紙デザインの作成支援、②商品を使った



福美精肉店 最優秀賞おめでとう!

レシピを掲載した新たなパンフレットの作成支援、③食のフェア等の物産展への出店斡旋とアンケート調査による販路開拓支援に取り組みました。

【優秀賞 みそ漬処香の蔵(鹿島商工会)】

『新規顧客へのアプローチ、販路開拓支援』を支援テーマとして、企業単体では、東日本大震災の影響により、売上げが減少している中で、既存の取引先



みそ漬処香の蔵 優秀賞おめでとう!

の維持、また新たな取引に至ることは、大変難しい状況にあります。商工会では販路開拓支援を行うべく、フェアや商談会などの情報を提供し、行政機関や主催企業との連絡調整、企業の売り込み申請等の支援に取り組みました。

【奨励賞 コネクション(内郷商工会)】

『一押し商品のPRと新たな販促ツールの構築による販路開拓支援』を支援テーマとして、①当店人気商品「焼きタルト」を地区内外に発信をする支援、



コネクション 奨励賞おめでとう!

②自社HPによるネット販売・配送システム構築支援、③初出展となるイベント支援に取り組みました。

「福島の美味しいもの」

東日本大震災に起因する福島原子力発電所事故に伴う風評被害拡大或いは食のブランド再生を目的に、いわき市小名浜におい



オープニングセレモニー 福×4



オープニングセレモニー
巒田会長主催者あいさつ



ベストショップコンテスト受賞者 左から順に
優秀賞 鹿島商工会 優秀賞 みそ漬処香の蔵 最優秀賞 福美精肉店
最優秀賞 埴町商工会 奨励賞 コネクション 奨励賞 内郷商工会



ベストショップコンテスト表彰式

ズムアツツ。



県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

飯野町商工会

「地元へ恩返しを」



ビューティサロンラミー
店主 佐久間信子氏

〒960-1301
福島県福島市飯野町字町70
TEL 024-562-2715

■事業紹介

・沿革 創業昭和49年
・震災日当日の心境
確定申告書の提出前でしたので気が気ではありませんでした。また、商店街の店舗が次々とシャッターを降ろし始め、顧客も自主避難準備を始めており、今後の事業継続への不安がありました。



・店舗再開までの道のり(苦労した点 等)
震災後の東京電力第一原発事故の風評被害により、顧客や売上が減少しました。しかし、飯野町商工会女性部長、地域女性団体会長として地道な飯野町風評被害払拭活動、つるし雛まつりでの中心的存在で地域を下から支えた結果、震災前までの状態まで回復してきました。

・商工会との関わり(商工会からの支援)
商工会には税務、労務、金融、地域振興等でお世話になっております。特に昨年は長男への事業承継で数回にわたり専門家の先生を交えてご支援いただきました。さらに、持続化補助金では申請から実績報告までマンツーマンで支援をしていただき感謝しております。

■経営(または地域)に対する思い

地域に密着し、周囲の方々との協調を考えた経営を行っております。

■今後の展開

私が飯野町で生きてきた恩返しとして、持続化補助金を活用し当店2階に布あそび塾(つるし雛飾り体験教室)をオープンしました。布あそび塾を通し皆様の憩いの場として、さらには、飯野町新産業の発祥事業所として事業展開し、美容室との相乗効果により売上を上げていきたいと思っております。



県中・県南

石川町商工会



お菓子のくわざわ
代表 桑沢 一氏

〒963-7808
福島県石川町双里字神主20-1
TEL 0247-26-2851
FAX 0247-26-8511

■事業紹介

石川町にある老舗和菓子店「お菓子のくわざわ」の桑沢一さんを紹介いたします。

創業は明治20年。和菓子の命でもある「餡(あん)」にこだわり、地元産の厳選した小豆を100%使用し事業を展開しております。創業以来作り続けている「茶まんじゅう」が定番の看板メニューですが、各テレビで取り上げられた「バターどら焼」や石川町産のリンゴを使ったパイまんじゅう「りんごの樹」。それに古代米「黒米」で「ずんだあん」を包んだ「黒米大福」も全国にファンを持つ人気商品です。近年は和洋折衷菓子、「生



チョコ」と「白あん」を包んだ「焼ショコラ」や「クリームチーズ」と「こしあん」を包んだ「クリームチーズのお月さま」。和をテーマにした「焼ドーナツ」なども幅広い年齢層のお客様からお土産としてご好評頂いております。今後も、震災以降続いている風評被害を払拭し、ふくしまの食の安全・安心をもつと伝えるために、お菓子づくりに取り組んでいきたいと思っております。

■頼れる商工会

昨年は持続化補助金を活用して、名入れ包装紙・手提袋を一新し、また、展示用ポスター作製等を行いました。今年度も経営計画の作成や財務諸表の精査など、すぐに役立つセミナーにも参加しました。現在も、会計書類の作成・補助金の相談など商工会には幅広い分野で支援を頂いております。事業に際しても、指導員さんには多くの知識と様々な経験から些細なことでも的確なアドバイスをしてもらえるので、大変頼れる存在です。これかも色々な課題に直面していくと思いますので、ご指導よろしくお願ひしたいと思います。

会津

会津坂下町商工会

「人柄で新規顧客の獲得を」



有限会社イソメ写真館

代表取締役 磯目 和幸氏

〒969-6547
河沼郡会津坂下町字市中三番甲3731
TEL 0242-83-2071
FAX 0242-82-4680
営業時間/8:30~18:30
定休日/火曜日

■たかがチラシ、されどチラシ

イソメ写真館は、大正元年創業以来100年以上にわたり地域に密着した写真館として、お客様の人生の一瞬を記録するお手伝いをしてきました。



しかし、近年は少子化の影響や高性能・高性能デジタルカメラの普及により、スタジオでの撮影やフィルム現象の需要が激減し、厳しい状況が続いていました。

そこで、新規顧客の獲得を図るべく小規模事業者持続化補助金へ挑戦することとなり、事業計画策定段階から支援させていただくことになりました。

計画策定にあたり経営状況のヒアリングをしたところ、当社は、初めて来店されたお客様はその場で撮影せず、初回は徹底的に会話をしてお互いを知り合うために時間を割き、日を改めて撮影するという特殊な撮影スタイルをとっていることが分かりました。それにより、お客様との間に心の壁がなくなり、被写体の最も自然で最高の笑顔を引き出すことができるようになります。時間が無く、「今すぐに撮って欲しい」というお客様の要望には応えられませんが、人生の一瞬を最高のかたちで残したいというお客様にはこれ以上ないサービスとなり、当社のファンになってくれます。磯目さんご夫婦の「人を楽しい気持ちにさせてくれる」人柄とあわせ、これこそが当社の最大の強みだと確信し、うまく宣伝しきれていないその部分を、お客様に直接アピールするよう提案しました。

その結果、無事補助金が採択され、事業実施にあたっては専門家等の支援を受けながら「経営者の人柄」や「楽

しさ」を前面に押し出すチラシの作成を行いました。作成したチラシを新聞折込で近隣市町村に配布したところ、非常にインパクトのある内容だった為、注目を浴び、潜在顧客の掘り起こしや新規顧客の獲得へと繋がりました。通常12月には繁忙期を過ぎ一段落する時期ですが、今季は撮影予約が途切れない状態が続いています。

今後も頑張っている姿を見続けていきたい、応援していきたい、そう思わせてくれる会員企業です。

■点と点を繋いでくれた商工会

商売に対して、これまでとは違った新しい事をしたいと暗中模索の日々でしたが、商工会の支援を受けたことで明るい道筋が見えました。

漠然とした私たちの話に真剣に向き合い、その都度の確かなアドバイスや目標達成のために必要な人材・題材を提案して頂き、その行動の速さにパワーを感じました。

新しい取り組みをする時には不安は付き物ですが、常に寄り添い支えて頂いたことで不安を自信に変えることができました。生涯お付き合いをしていきたい存在に出会えた事に感謝しています。



商工会の支援を受けながら、これからもより一層、お客様と信頼関係を結ばれるお店づくりをしていきたいと強く思います。

浜通り

新地町商工会

「新天地でのお客様獲得」



オートガレージケース

株式会社石橋自動車

代表 石橋 健次氏

〒979-2611
相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神西1-26
TEL 0244-26-9785
FAX 0244-26-9786
営業時間/8:30~19:00
定休日/日曜日・祝祭日

■震災被害からの事業再建



オートガレージケース(株)石橋自動車は平成15年に相馬市で開業し、品質を重視した経営を心掛けお客様の信頼を獲得してまいりました。おかげさまで順調に営業させていただいておりましたが、東日本大震災での津波被害により店舗が全壊流出してしまい、約1年半かけて再建準備をし、新地町に移転し営業を再開いたしました。

店舗の移転に加え、従来からのお客様もその多くは他の地域へ移転してしまつたため、新地町での事業再建には新規お客様の獲得が課題となっております。また、お客様からは車輛の販売から車検整備、自動車保険、そして钣金塗装といった自動車に関するすべてのニーズへ1つの店舗で対応することが求められておりました。

商工会から小規模事業者持続化補助金制度の説明及び経営計画書や補助事業計画書の作成支援をいただき、無事採択を受けることができ、このような顧客ニーズへ対応するための最新設備

を導入しました。さらに国道6号バイパス沿いの立地を生かし、看板を製作することで車輛に関する一連の整備作業等が自社で完結できるといった自社の強みを通行車両等へアピール、宣伝効果の向上と共に地域への知名度の向上を図りました。お客様のニーズへ幅広く対応できるようになり、納期短縮、品質安定等へつながり、それがまたお客様の満足度向上につながるかと考えております。

■今後の事業展開

今後も一つ一つお客様の信頼がいただけるよう、品質重視の姿勢を継続してまいります。人材不足等課題は多々ありますが、随時従業員の増員、技術習得するための教育や研修会、勉強会への積極的な参加をし、お客様の満足につながるよう努めてまいります。

経営計画や事業計画の策定、それに伴う計画書の作成等、商工会の支援無しでは難しかったと思います。今後も商工会へは様々なご支援をお願いしたいと思っております。



Information

商工会だより

「地域資源を生かした産業育成と経済の活性化の取り組み」

埴町商工会



埴町商工会長の古橋博です。

埴町は、福島県の南東部、阿武隈山系と八溝山系に囲まれた田園と山林のまちです。

町の中央を久慈川が南北に流れ、その支流である川上川の渓流とともに、町の豊かな自然の象徴となっています。

市街地には、交流拠点として、図書館やコミュニティプラザを併設した磐城塙駅やJA厚生連が運営する塙厚生病院、道の駅はなわがあり、国道118号線とJR水郡線で郡山市と水戸市とで結ばれています。

当地は江戸時代、天領として代官所が置かれ、ヒノキなど良質な木材の産地として、また米を主体に蒟蒻の生産地域として知られています。

夏の一大風物詩・

埴流灯花火大会

毎年盆の八月十五日大字塙の商店街は歩行者天国となり、町民による自主的な露店が並び、夕方になると流灯花火大会が

行われる川上川河畔には、大勢の観客が集まり二十基に余る大型・中型灯籠や約三千個の供養回転灯籠が流れ、光のページェントが展開される。さらに川上川下流と久慈川の合流する河原から大小三千発の花火が打ち上げられ夜空を飾ります。

この伝統行事は、昭和五年以来連続と受け継がれ八十六回となりました。当時は先祖の霊を慰める行事から今まさに町全体の大きな行事となりました。



東日本大震災の復興を願い「花は咲き はなわ咲く」を合言葉に、流灯大会とあわせて駅前通りでは町民総参加による「踊り流し」や町内商店街を「イルミネーション」で飾り賑わい創出しています。



埴流灯花火大会

次代を担う子供たちの創造性を育む発明工夫展を開催



埴町発明工夫展

県発明工夫展予選会を兼ね、商工会が主催となり町内各種団体の後援をいただき今回で三十四回を数えました。

一般の部と町内小中高生の部に区分し、創造性に富む優れた作品、アイデアを町民に紹介し、発明思想の高揚をはかり、産業経済及び文化の発展に資するとともに、次代を担う児童生徒の創造性の育成を図る目的で開催しています。

今回は、一般の部二点、学生の部八十九点の出品があり、県大会では一般の部に県工業クラブ会長賞と学生の部に復興特別賞を受賞しました。

多種多色のダリアの世界・

はなわのダリア



ダリア園

「花の王様」として知られるダリア。その美しさは見るものを圧倒する存在感があります。

埴町では、ダリアの栽

培に町ぐるみで取り組んでおり、毎年夏から秋にかけて「ダリア祭り」を開催しています。メイン会場となる「湯遊ランドはなわ」のダリア園では、平成二十七年八月にリニューアルし園内百五十種一千五百株のダリアが楽しめます。

祭り期間中(八月～十月)には、切り花、写真、ダリアづくりなどコンテンツ、ダリア染め体験、ダリアスタンプラリーなど数多くのイベントが予定されています。

商工会女性部が作成した

ダリアの妖精「ダリちゃん」が大人気

様々なイベントに出演している「はなわのダリちゃん」を紹介します。

誕生日八月七日(はな)うまれ特技はダンス

性格は明るく元気な女の子
好物はダリアソフトクリーム
見かけた時は、声をかけてください。



はなわのダリちゃん

Information

商工会だより

「新たな地域資源の循環へ向けて」 三島町商工会



三島町商工会長の
佐久間源一郎です。

三島町は、福島県の西部に位置し、尾瀬を源流とする只見

川沿いにある山間の町です。昭和三十年に宮下村と西方村が合併し三島村となり、昭和三十六年に三島村が町制施行し三島町となりました。十八カ所に集落が点在し、冬は積雪が二メートルを超えることもある豪雪地域であり、古くから「会津桐」の産地として知られ、町内随所に植えられており、春には一斉に薄紫の花を咲かせます。また只見川に沿ってJR只見線が走り、渓谷と鉄道が織り成す四季折々の風景を見ることができな

ど豊かな自然に囲まれております。雪国ならではの民具作りの知恵や、暮らしに根付く民俗行事が継承され、町民が守り継いできた文化を大切にしている町づくりを展開しており、平成二十四年に「日本で最も美しい村」連合に加盟しております。

一方、多くの地域が抱える課題ですが、当町も過疎、少子高齢化が進みその割合は県内上位、全国でも高く、高齢化率は50%を超え、昭和二十五年度のピーク時七千七百二十一人を数えた人口は現在一千七百七十五人まで減少しているといった厳しい状況であります。

第一回よつてがん処マーケット

三島町の経営環境、特に小売業を取り巻く環境は、少子高齢化・人口の減少による消費力の低下や近隣市町の大型スーパーへの消費流出により厳しい状況が続いており、町の中心部である宮下地区に位置する商店街は衰退の一途を辿っています。この課題に取り組むため、空き家を活用した地域コミュニティの場としての機能を備えた拠点づくりにより、商店街への集客のための人の流通（流れ）構築を進めております。この事業はまだ初期の段階ですが、去る十月には、「第一回よつてがん処マーケット」を開催し、地域製品の販売によって中心商店街への集客を図る実証実験を行い、町内外から多数の来場者を迎えることができました。平成二十八

年度は拠点づくりと人と物の流れについて具体的な検討を行い、持続可能で実現性の高い計画を策定し、中心商店街をはじめとする商工業振興はもとより、地域住民の消費生活基盤の確保、地域資源の有効活用をとおりして町全体の活性化に取り組みしていきます。



第1回よつてがん処マーケット

雪と火のまつり

国指定重要無形民俗文化財登録の三島の「サイノカミ」は五穀豊穡、無病息災、村中安全を祈願する伝統行事で、多くの方に三島町の伝統文化に触れていただくとうとサイノカミや団子さし、鳥追いなどの冬の伝統行

事を再現した「雪と火のまつり」が毎年二月の第二土曜日に開催されます。雪国ならではのイベントや特産品店等が並び三島横丁、高さ20mを超える巨大なサイノカミの炎とともに打ち上がる花火が冬の夜空を幻想的に照らすなど、県外からも多くの来場者があり賑わっております。



サイノカミと花火



20mを超すサイノカミ

大切なご家族をお守りする保障

商工会の福祉共済

「生命」保障



お問い合わせは、商工会まで！

税務署からのお知らせ

所得税の確定申告書は、自宅で作成し郵送で提出できます！

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」にはメリットがいっぱい！！

- 1. 24時間いつでも利用可能
- 2. 自動計算機能
- 3. 前年データの利用可能



操作や設定で困ったときは…
e-Tax・作成コーナー
ヘルプデスク

☎0570-015901 (全国一律市内通話料金)

受付時間：月曜日から金曜日の9時～17時

※確定申告期間中の受付時間については下記ホームページでご確認ください。

国税庁ホームページ：www.nta.go.jp

確定申告

検索

ネットde記帳

【商工会推奨経理ソフト】

わかるまで・できるまで
商工会の“しっかり”サポートで、
とっても安心！

お問い合わせは、
商工会まで

誰にでも楽々できます！

操作は簡単なので、パソコン初心者でも安心してご利用いただけます。また、気になるところは付箋機能による質問も可能。商工会と相談しながら入力を進められます。



どこでも楽々できます！

インターネットが使えるパソコンがあれば、会社や自宅はもちろん、出張先などの出先からでも、すばやく伝票入力や元帳の確認などができます。



電子申告までできます！

「ネットde記帳」なら、帳票イメージに近い画面からの入力で、簡単に所得税や消費税の申告書類を作成できます。そのまま電子申告することも可能です。



中小企業の皆様、こんな悩みをお持ちではないですか？

アジアで販売したいが
情報不足、模倣品も不安

売上げ好調だったが
類似品登場で売上減

知的財産がどのように
役立つか聞いてみたい



知財で解決できるかも！

相談無料

知財総合支援窓口にご相談ください！

秘密厳守

直通：024-963-0242 所在地：郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

東北経済産業局特許室委託：特許等取得活用支援事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>

お問い合わせは、
商工会まで



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。